

令和5年度 第1回 市営住宅運営委員会議事録

日 時：令和6年3月26日（火）15時51分～16時33分

場 所：富良野市複合庁舎 会議室D

出席委員：佐々木委員長、大佐古副委員長、大西委員、斉藤委員、大高委員、北村委員、
藤田委員、吉中委員、山本委員 （計9名）

事務局：北川建設水道部長、黒崎都市建築課長、伊藤住宅政策係長

1. 開会（15時51分）

課長の進行により委員9名中全員の出席があり委員会が成立している旨を告げて開会

2. 部長挨拶

昨年度の委員会では住生活基本計画の見直しに係る審議を頂き、令和5年3月に公表することができました。その計画では「安全・安心で支え合い、繋がり合う、持続可能な住生活の実現」を基本理念として、5つの目標を設置しております。まだ1年を経過しておらず、成果等は見えていませんが、これらの目標に向かって住宅政策を進めています。

昨今、人口減少が進む中、生産年齢人口が減っている状況で、それは地域産業の低迷に直結するものです。移住や関係人口の創出なども言われていますが、そうした中では住生活環境の整備というものは一つのキーワードとして挙げられると思います。本日は報告事項のみとなってしまいますが、この委員会の中で、公営住宅も含めた富良野市の住生活環境の整備に向けた意見交換ができればと思っています。

3. 委員長挨拶

本年度の第1回目の運営委員会です。運営委員の皆様の忌憚のないご意見やご質問を頂きながら、この委員会がスムーズに進みますようご協力をお願い致します。

4. 委員会（以降、委員長の進行による）

報告ー1 市営住宅等管理状況について

- ・事務局より資料に基づき説明
- ・委員より質問

石綿の調査というのは建材に石綿が使われているかどうかの調査ということですか？

- 事務局より回答
そのとおりです。
石綿が含まれているかどうかで解体時の施工内容が変わりますので、事前に調査を行っています。
- 事務局より補足
建てた年代により塗料等にも含まれている場合があります。住宅だけではなく、橋梁等も含めてアスベストの含有調査が義務付けられています。
- 委員より質問
これはあくまでも解体時のもので、入居中の方の健康被害というものはないのですか？
- 事務局より回答
それはありません。飛散しない限りは問題ないと思います。
- 委員より意見
山部地区の公営住宅ですが、政策空家になっている住戸について、管理が行き届かない部分があり、軒が折れたりしていることがあります。1棟すべての入居者が退去しないと解体というところには進めないのでしょうか？
予算の都合もあろうかと思いますが、入居者の年齢を考えると、入居中の方が移転を希望していなくても、新たな住宅を建設して、そちらに転居させた方が良いと感じますし、そうすることで解体を進めてほしいと思っています。
また、空家となっている住戸の管理もしっかり行って頂きたいと思います。
- 事務局より回答
山部の黄の花団地は解体の候補に入っています。ただ、解体費用も高騰していますので、予定通りにはいかないこともあり得ます。
また、山部地区の場合は空家の入居者を募集しても応募がないことが多いので、新築は難しいと思います。
- 委員より意見
高齢の入居者宅の除雪を行ったりしていますが、棟の奥側に住んでいる人だったりすると道路までの通路も必要になるので、入居者も大変だと思います。手前側への移転の話をして、入居者自身が拒絶することが多いので、それも悩ましいところです。
- 事務局より回答
空家に入居させるためには、空家の修繕も必要となりますし、入居者本人が手を加えて住みやすい状態を作っている中、移転は難しいです。
- 委員より質問
災害時など、被災されたかたが入居するといったようなことは過去にあったのでしょうか？
- 事務局より回答
最近では石川県能登半島の災害等も含め、被災された方は住宅を求めてきたことはありません。

ただし、市内で火事に遭われた方が入居の相談に来たことはありますが、入居には至りませんでした。

- ・事務局より補足

神戸の地震の時に、北海道が民間賃貸住宅を借り上げてそこに被災者に住んでもらうという政策があり、富良野市内でも数件住まわれたという実績があります。その際、その方たちに物資の提供等の活動は行いましたが、公営住宅自体の提供は実績がありません。

報告－2 令和5年度市営住宅建設事業について

- ・事務局より資料に基づき説明
- ・質疑応答なし

5. その他

- ・事務局より次回委員会開催時期等の事務連絡

6. 閉会 (16時33分)